

## 富士急行線富士山駅に自動改札機を導入します

富士急行株式会社(本社:山梨県富士吉田市、社長:堀内光一郎)では、富士急行線富士山駅において、スムーズな改札による混雑緩和など一層のサービス向上をはかるため、改札口に自動改札機を導入します。

この自動改札機は、首都圏で導入されている自動改札機と同様の仕様で、磁気乗車券や IC カードでのご利用が可能です。富士急行線では大月駅連絡改札口に続き2駅目の導入になります。

今後も富士急行では、富士急行線の環境整備を進めることで交通インフラの充実を図り、地域活性化の一助となることで地域の皆様に貢献して参ります。概要は下記の通りです。

### 【自動改札機導入の概要】

- (1)使用開始 2021年3月22日(月) 12時～ ※開始時刻が早まる場合があります
- (2)導入駅 富士急行線富士山駅
- (3)通路数 2通路(両方向兼用機(きっぷ及び IC カード利用可能:ワイドタイプ)  
※ワイドタイプは通路幅を 900mm(通常は 600mm 程度)とした自動改札機で  
キャリーバックをお持ちの方もスムーズに通れるようになっています。  
※裏の白いきっぷをお持ちのお客様等は、駅係員のいる有人改札をご利用頂きます。
- (4)利用可能な乗車券類  
定期券サイズの裏が黒いきっぷ、券売機で発売するきっぷ、JR 発売の定期券、  
交通系 IC カード等  
※当社窓口発売の裏が白いきっぷや定期券はご利用頂けません。

【富士山駅 自動改札機導入状況】



両方向兼用機(きっぷ及び IC カード利用可能) ※ワイドタイプ2通路